

- 〈根拠とする計画等〉
- ・第4期群馬県教育振興基本計画
 - ・学校教育の指針(群馬県教育委員会)
 - ・明和町教育行政方針

学校の教育目標

〈基本目標〉

社会の変化に主体的に対応できる、心豊かで実践力のある、心身ともに調和のとれた児童の育成

〈具体目標〉

- 礼儀正しい子
- 真剣に学習する子
- 心と体をきたえる子



〈目指す学校像〉 3つの笑顔

- 児童が長所を伸ばし、違いを認め合うことができる学校」(児童の笑顔)
- 教職員が夢を語り、働きがいを感じる学校」(教職員の笑顔)
- 保護者や地域がもてる教育力を活かし、学校の応援団になる学校」(保護者・地域の笑顔)

〈目指す教師像〉

- 心のやさしさをもつ教師
- 学び続ける教師
- 明るく元気な教師

〈目指す児童像〉

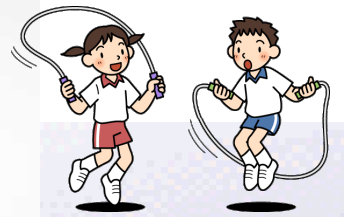
- 自分も人も大切にできる児童
- よく聴き、よく考え、よく表現できる児童
- 健康な生活を心がけ、最後まで粘り強くがんばる児童

経営方針～「あいさつと笑顔いっぱいの明和西小学校」～

- ① 児童の自主性を育て、徳・知・体の調和のとれた人間性の育成をめざす。(しなやかに生きる力)
- ② ことばを大切にし、教師と児童、児童相互、教職員相互の良好な人間関係を基盤とした信頼のある、居心地のよい学校づくりをめざす。(安心安全な学校風土)
- ③ 教職員の協働性を高め、教科担任制の充実、ICTの活用、環境の構成の工夫等、教師力向上につながる校内研修の充実に努め、全職員が学校経営に参画し、質の高い教育活動の実践をめざす。(学び合う組織)
- ④ 教職員の仕事へのやりがいを高め、ワークライフバランスを意識した環境を目指す。(働きやすい職場)
- ⑤ 児童の安全の確保を最優先し、体力・健康づくりと命の大切さを育む学校をめざす。(健康・安全)
- ⑥ 保護者や地域に開かれた学校づくりを推進し、家庭・地域社会、幼保小の連携を深め、地域とともに歩む学校をめざす。(地域連携の充実)

本年度の努力点

- ① 自ら考え、めあてに向かって粘り強く取り組む児童の育成に努めます。
- ② ことばを大切にし、笑顔いっぱいの学校の実現に努めます。
- ③ 教科担任制の充実を図ると共に、思いを表現する言語活動や環境の構成の工夫を取り入れ、学びを深める授業改善に努めます。
- ④ 安全で健康な学校生活の実現に努めます。
- ⑤ 地域資源を活用し、学びを広げる体験活動や授業の充実に努めます。



自分も人も大切にします
感謝
～心豊かな子の育成～

自分で考えて、決めて、やってみます
自律
～自ら考え表現する児童の育成～

健康な生活を心がけ最後まで頑張ります
挑戦
～たくましい子の育成～

- ① 学年・学級経営の充実
 - ことばを大切にしながら、温かい人間関係を築き、お互いのよさや可能性を認め、活躍の場を設定し、個を伸ばす学年・学級経営の充実に努める。(自己有用感の育成)
- ② 心の教育の充実
 - 特別活動を要として自主的・自立的な活動に取り組むと共に、互いに認め合い、共に支え合う、思いやりの心の育成に努める。(共感的な人間関係の育成)
 - 児童主体のいじめ防止活動等を推進し、人権教育・道徳教育等の充実に努め、いじめ撲滅の学校風土を醸成する。(差別やいじめサインに気付く常時指導)
- ③ 生徒指導・人権教育の充実
 - 児童の人格を尊重し、児童の努力・工夫・よさ・可能性を認め、気づかせ、自信を育み、児童の心に寄り添った生徒指導・人権教育の充実に努める。(チーム支援)

- ① 確かな学力の向上
 - 「はばたく群馬の指導プランⅡ (ICT活用ver)」を参考に、ICT等を効果的に活用しながら、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に努める。
 - 「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を通して、学びの主体性・協働的な課題解決力の育成に努める。
 - 専門性を生かした指導を通して、学びを深めるとともに、個に応じたきめ細かな指導に努め、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。
 - 教師が「～させる」授業から児童が「～する」授業への転換を図る。
- ② キャリア教育の充実
 - 各教科等において社会と生活とのつながりを意識させ、体験活動を充実させる等、学びの発展・学ぶ意欲の向上につながる指導の工夫に努める。

- ① 非認知能力の育成
 - 生活科、総合的な学習の時間を中核とした教科横断的なカリキュラムマネジメントによる探究的な学びの充実に努める。
 - 授業・領域・行事等でエージェンシーを発揮する3つの場面(自己決定・対話交流・試行錯誤)を意識した取組を図る。
- ② 健康・安全教育の推進
 - 児童の自主的な運動が持続できる環境を整え、体力の向上を図る。
 - 食育の充実に努める。(特配活用)
 - 校内安全、交通安全、防災・防犯などの安全教育を通して児童が自分で考え決めて動き出す危険回避能力を育成し、家庭・地域・関係機関との連携・推進も図る。

校内研修主題

目標 「自分の思いや考えを表現できる児童の育成」
手立て～基礎的・基本的な知識及び技能を活用し、思いを表現する言語活動の工夫～

- ことばを大切にするとともに、「元気な挨拶・先言後礼・はっきりした返事」を励行し、温かい人間関係づくりに努める。
- 読書活動の推進やチャレンジタイムの工夫、集会の発表等を通して言語活動の充実に努める。
- 英語への興味・関心を高め、コミュニケーションを大切にしたい楽しい英語授業の実現を図る。
- 環境の構成の工夫や教師の援助により、児童が自ら思いを表現できるように努める。
- 地域人材等の活用による体験的な学びの場を拡充し、自分の思いを表現できる機会を設定する。



教育課程の評価 ⇄ 学校評価 ⇄ 授業改善